

授業概要

はじめて心理学を専門的に学ぶ学生の入門として、心理学概論 I では、心理学の歴史・知覚・認知・学習・神経生理・発達・臨床にわたる、心理学の基礎的な領域について、広く概説を講義する。自己を理解し、他者や社会を理解するために、科学としての心理学的な観点から心理学の基礎的な知識の習得を目指して、講義する。なお、本授業は心理学科の必修、卒業に必須の科目である。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション、心理学の歴史と心理学の研究法
第 2 回	感覚・知覚・認知① 視覚
第 3 回	感覚・知覚・認知② 聴覚・嗅覚・その他
第 4 回	学習
第 5 回	欲求と動機づけ
第 6 回	記憶① ワーキングメモリ
第 7 回	記憶② 長期記憶
第 8 回	知能 知能検査の種類
第 9 回	神経生理 脳と神経
第 10 回	高次脳機能障害
第 11 回	臨床心理、適応の問題
第 12 回	非言語的コミュニケーション、対人距離
第 13 回	発達① 生涯発達
第 14 回	発達② 認知の発達
第 15 回	発達③ 情動の発達
第 16 回	試験の実施

到達目標

人間行動について、科学としての心理学の視点から基礎知識が理解できる。
さまざまな領域の心理学を学び、自己理解、他者と社会への理解の方法について知ることができる。

履修上の注意

スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。
講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

予習・復習

授業に必要な資料は授業前日までに Teams に掲載しておくので、資料をよく読んで予習をしておく。
講義内で行われた小テストの復習をおこない、授業内容を理解し覚える。

評価方法

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

テキスト

テキストは特に指定しないが、以下の文献を参考文献とする。
また、必要な資料は適宜、授業内に紹介・配布する。

- ・参考書：対話で学ぶ心理学第 2 版
- ・著者名：塩見邦男
- ・出版社名：ナカニシヤ出版
- ・出版年 (ISBN)：2007 年 (978-4-7795-0193-7)